

開催概要

令和7年、第79回国民スポーツ大会および第24回全国障がい者スポーツ大会（「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」）が、44年ぶりに滋賀県で開催されました。この大会は、選手、ボランティアをはじめ、県民、来場者など滋賀県で開催する両大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できることを目指し、取り組みました。

国民スポーツ大会とは

都道府県の持ち回り形式で毎年開催されている国内最大のスポーツの祭典です。正式競技では、都道府県対抗方式で、天皇杯（男女総合成績第1位）や、皇后杯（女子総合成績第1位）の獲得をめざし、熱戦が繰り広げられます。正式競技のほかに、特別競技、公開競技、デモンストレーションスポーツが実施されます。令和6年（2024年）年から、名称が国民体育大会（国体）から国民スポーツ大会（国スポ）に変更されました。



全国障がい者スポーツ大会とは

毎年、国民スポーツ大会終了直後に同じ都道府県で開催される障がい者スポーツの祭典です。正式競技にはそれぞれ7つの個人競技と団体競技があり、団体競技は都道府県・指定都市対抗方式で行われます。また、正式競技のほかに、オープン競技が実施されます。



大会愛称

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

発刊にあたって

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会 会長

いまき かつのぶ
高島市長 今城 克啓



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、全国各地から多くの選手・監督をはじめ、大会関係者、一般観覧者の皆様をお迎えし、盛大に開催することができました。また、滋賀県選手団は、44年ぶりに天皇杯（男女総合）、皇后杯（女子総合）を獲得するという輝かしい結果を残すことができました。

高島市では、ウェイトリフティング、ソフトボール（成年女子）、銃剣道の正式競技と、特別競技として、高等学校野球（軟式）に加えて、デモンストレーションスポーツとして、里湖で地域を結ぶウォーキングを開催いたしました。また、国スポに続いて障スポでも、正式競技であるソフトボールが開催されました。

いずれの大会も多くの皆様に多大なご支援・ご協力をいただき、大成功をおさめることができました。大会期間中は、連日、多くの観客や学校観戦の児童生徒の熱い声援が響き渡る中、トップアスリートによるハイレベルな熱戦が繰り広げられました。日頃の練習の成果を発揮し、全力で競技に取り組む姿は、多くの市民に勇気と感動を与え、本市において、スポーツをする・みる・ささえる・しる「スポーツ関係人口」の増加に大きくつながる貴重な機会となりました。

また、手づくり応援のぼり旗や花プランターなど、小中学生や市民の皆様による歓迎装飾のほか、地域団体などによる地元食材を生かしたふるまいや、ボランティアの皆様の温かい運営サポートなど、市民一丸となったおもてなしで大会をおおいに盛り上げていただきました。

この報告書は、大会に向けて取り組んできた軌跡や、大会期間中の選手・スタッフの活躍の様子を記録し、後世に永く伝えるために作成したものです。多くの皆様にご高覧いただければ幸いです。

結びに、両大会の開催にあたってご支援、ご協力を賜りました各競技団体をはじめ、すべての関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも本市の発展にご協力を賜りますようお願い申し上げまして、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。